

Hiroshige SEKO
Deputy Chief Cabinet Secretary

日本の技と心を住まいに活かす

～住生活月間フォーラムの開催に寄せて～

本日「和の文化に学ぶ」をテーマとして住生活月間フォーラムが開催されますこと、心よりお喜び申し上げます。

私はかねてより、和の住まいや住文化の良さが近年の住まいに十分活かされていないこと、そして和の住まいに係る技術の継承が十分に行われていないことについて大きな危機感を抱いてきたところであります。

襖、瓦、畳、縁側、続き間などは、地域の気候・風土・文化に根ざした住まいの要素であり、和の住まいには我が国の伝統的な知恵と技が結集されています。その継承とともに、すばらしさを現代・未来に活かす。地域産業を活性化し循環型社会の構築に資する。そうした観点からも和の住まいは非常に大切なものと考えております。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が正式に決定しました。国内のみならず海外に対しても、日本文化の良さを発信していくことは今後特に重要となってまいります。

この様な思いから、関係省庁に対し和の住まいの推進方策の検討をお願いしたところ、関係省庁連絡会議において本日お配りしている「和の住まいのすすめ」がとりまとめられ、また、住生活月間実行委員会の御理解をいただき、本日多くの方の御参集を得てフォーラムが開催されるに至りました。

本日会場にお集まりの皆様方におかれましては、和の住まい推進関係省庁連絡会議の取り組みにぜひとも御理解・御賛同を賜りますようお願い申し上げますとともに、今回のフォーラムを一つの契機とし、和の住まいや文化を見直す動きが大きく活性化することを期待し、メッセージとさせていただきます。

平成25年10月30日

内閣官房副長官



Prime Minister's Office of Japan
2-3-1, Nagata-Cho, Chiyoda-Ku
Tokyo, 100-0014 JAPAN
Phone : +81-3-3581-0101